

# 2019年3月期 第1四半期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社  
取締役 CFO

2018年7月31日



東証第1部 : 6754  
<https://www.anritsu.com>

**Anritsu**  
envision : ensure

# 注 記

---

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

---

# 目次

I. 事業概要

II. 2019年3月期第1四半期 連結決算概要

III. 2019年3月期 通期業績予想（連結）

IV. 5G最新動向と当社のソリューション

# I. 事業概要

## T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場 : 5 G, LTE
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



## PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



## その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2018年3月期 実績 (連結) : 860億円

T&M 63%			PQA 26%	その他 11%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 32%	エレクトロニクス 23%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 20%	アジア、パシフィック 38%	米州 23%	EMEA 19%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

### ▶ 前年同期比増収、増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	202	226	24	12%
売上高	194	210	16	8%
営業利益	△2	16	18	-
税引前利益	△2	18	20	-
当期利益	△2	17	19	-
当期包括利益	2	21	19	745%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

➡ T&M：5GおよびLTE-A Proの需要で増収、増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	131	144	13	10%
	営業利益	△5	15	20	-
PQA	売上高	47	49	2	5%
	営業利益	3	2	△1	△52%
その他	売上高	17	17	0	△1%
	営業利益	1	1	0	△27%
調整額	営業利益	△1	△1	0	-
合計	売上高	194	210	16	8%
	営業利益	△2	16	18	-

(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

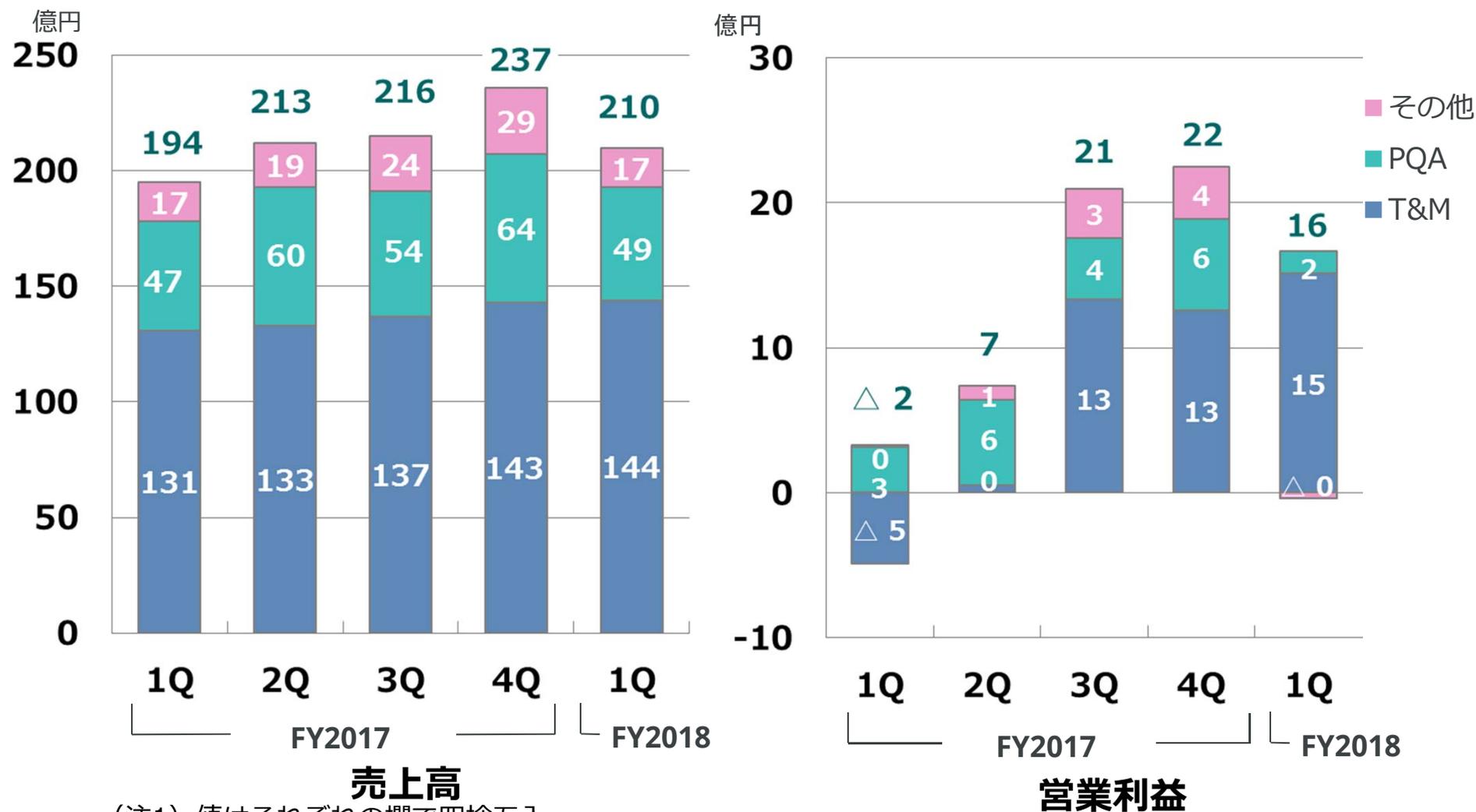
(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

(注3) 当第1四半期連結会計期間から本社管理費等の各事業セグメントへの配分方法を変更しており、前連結会計年度の数値は組替再表示しています。

T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 1Q(4-6月)営業利益率：連結8%, T&M11%, PQA 3%



(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 営業利益の「その他」には「調整額」が含まれています。

## Ⅱ - 4. 事業別営業概況

セグメント	2019年3月期第1四半期（4月-6月）の状況	
 <b>T&amp;M</b> : 5G商用化のロードマップが具体化		
モバイル	LTE-Advanced	LTE-Advanced Proへの投資にシフト
	5G, IoT, Connectivity	5G NSA初期需要立ち上がる
NW	光デジタル関連への設備投資は堅調	
アジア	スマホ製造市場は成長鈍化するも堅調に推移	
米州	LTE-A Proに加え5G初期開発需要立ち上がる	
 <b>PQA</b> : 国内・海外とも食品市場の品質保証、自動化、省力化の投資が堅調に継続		

T&M: Test & Measurement

NW: Network Infrastructure

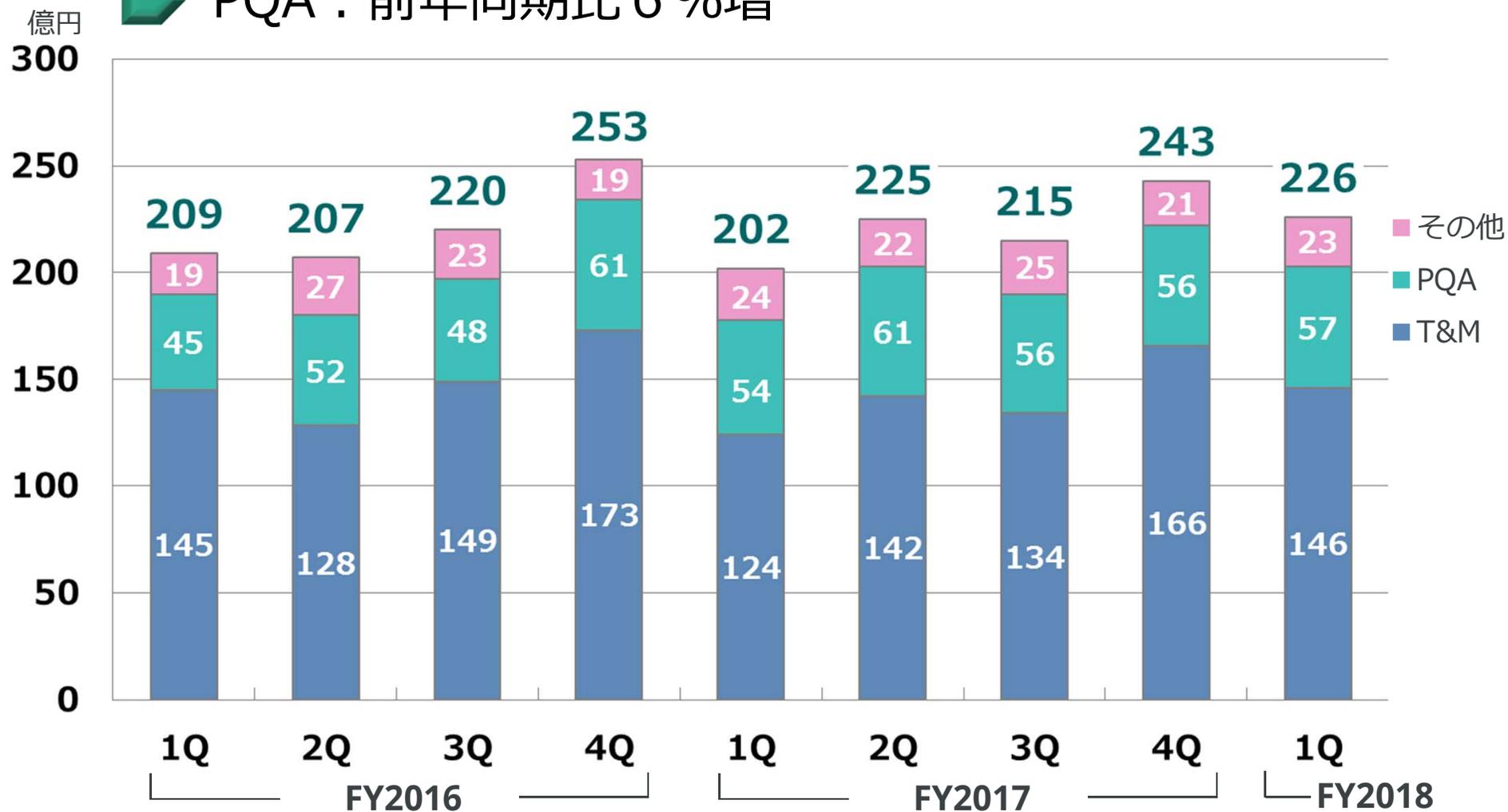
PQA : Products Quality Assurance

NSA: Non Stand Alone

## Ⅱ - 5. 受注高推移

➡ T&M：前年同期比18%増

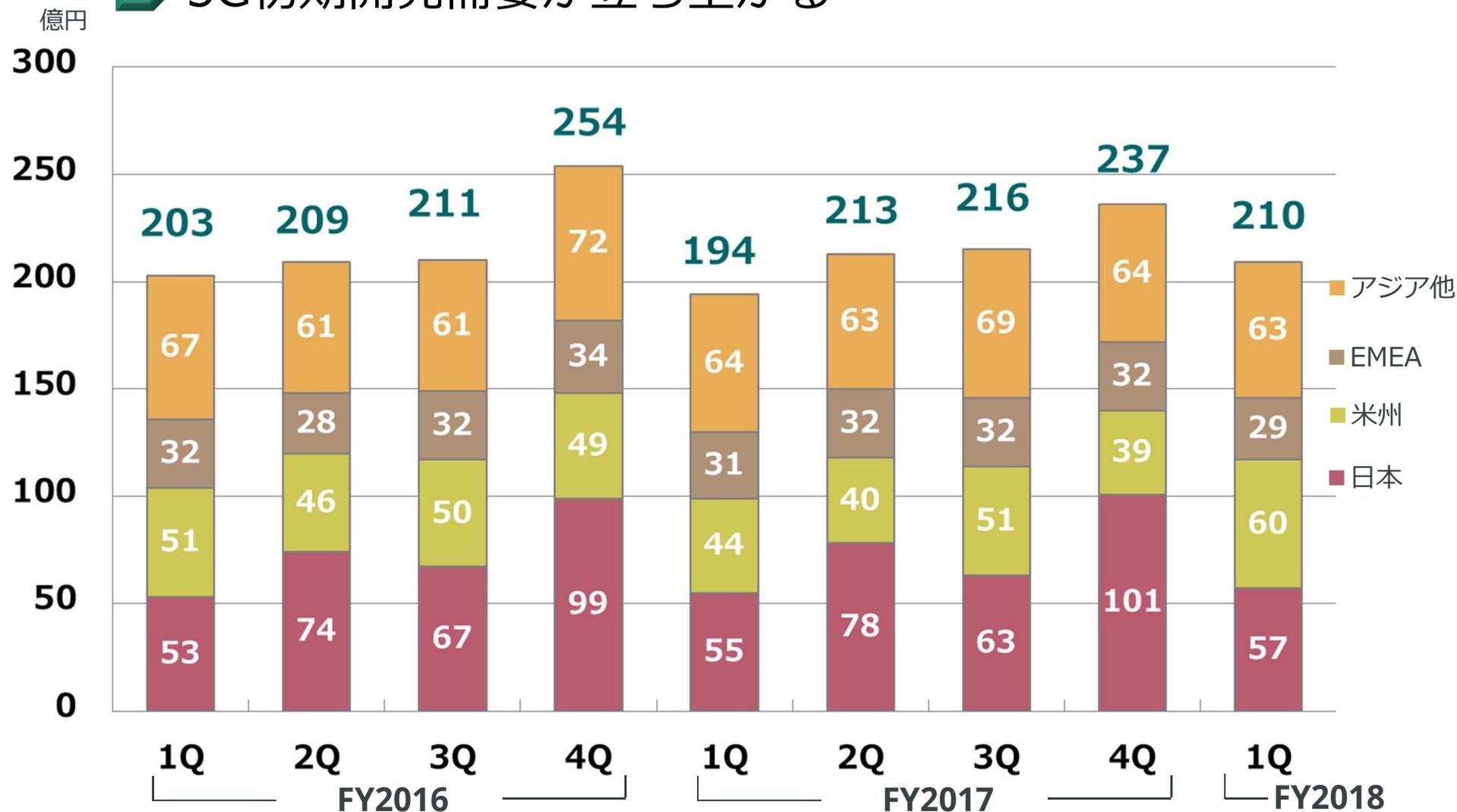
➡ PQA：前年同期比6%増



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 6. 地域別売上高推移

➡ 5G初期開発需要が立ち上がる



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ- 7. キャッシュフロー

➡ 営業CFマージン率24.1%

### FY2018 1Q

- ①営業CF： 50億円
- ②投資CF： △6億円
- ③財務CF： △5億円

### フリーキャッシュフロー

(① + ②)： 44億円

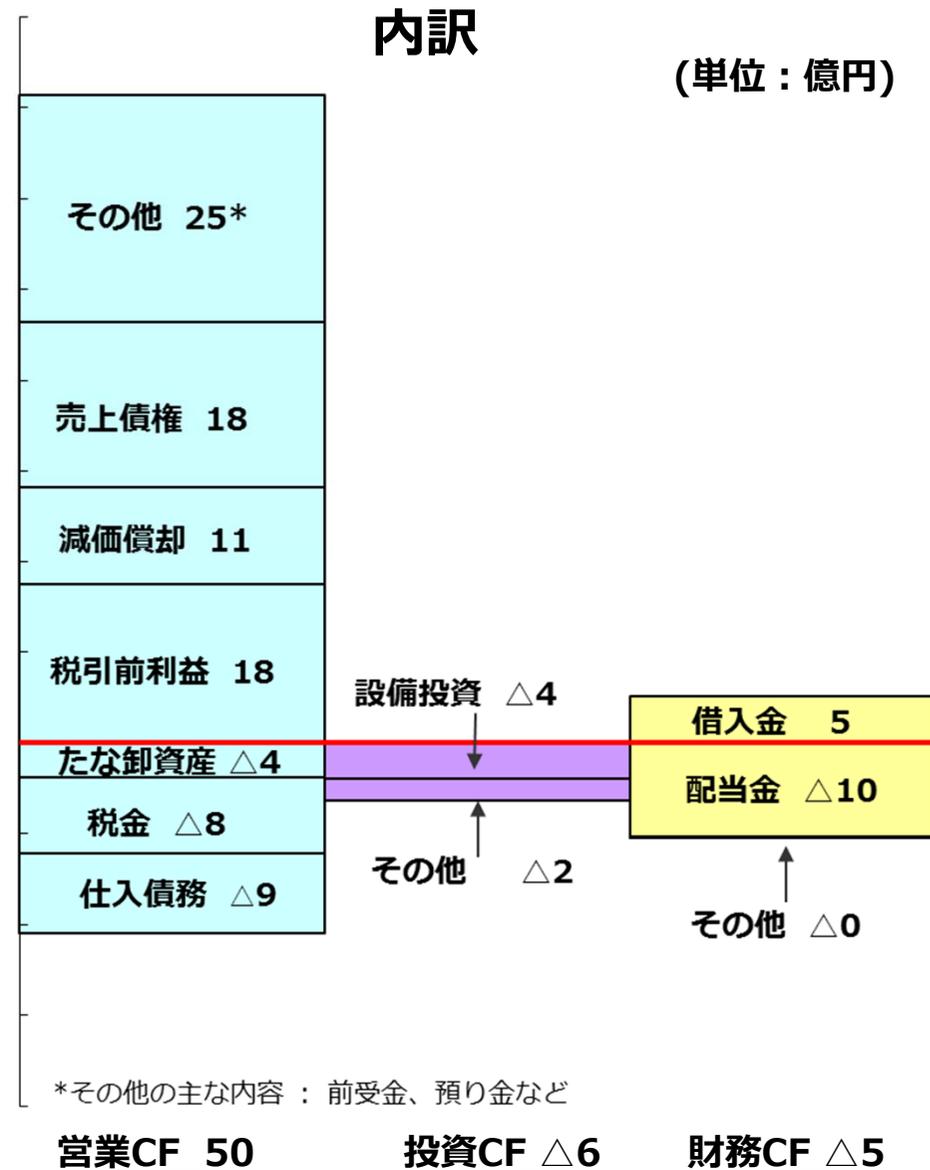
### 現金同等物期末残高

394億円

### 有利子負債高

165億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



### Ⅲ. 2019年3月期 通期業績予想（連結）

➡ 4月26日公表値のとおり

（単位：億円）

		2018/3期	2019/3期		
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		860	920	60	7%
営業利益		49	66	17	34%
税引前利益		46	66	20	43%
当期利益		29	50	21	72%
T&M	売上高	544	600	56	10%
	営業利益	21	35	14	63%
PQA	売上高	225	235	10	4%
	営業利益	20	20	0	2%
その他 +調整額	売上高	90	85	△ 5	△ 5%
	営業利益	8	11	3	38%

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

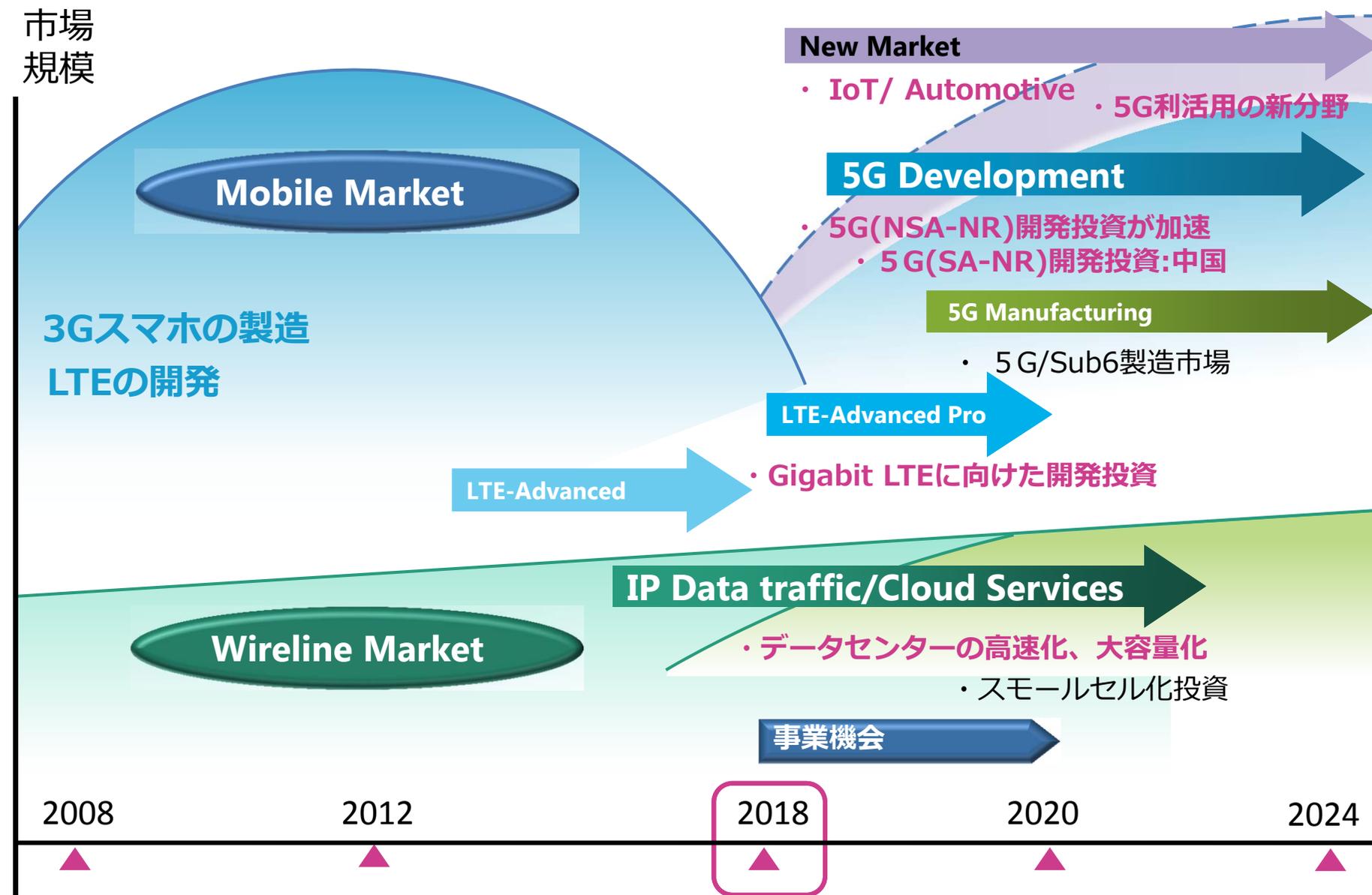
（参考）FY17為替レート : 1米ドル111円、1ユーロ=130円  
 FY18想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円

# IV. 5G最新動向と 当社のソリューション

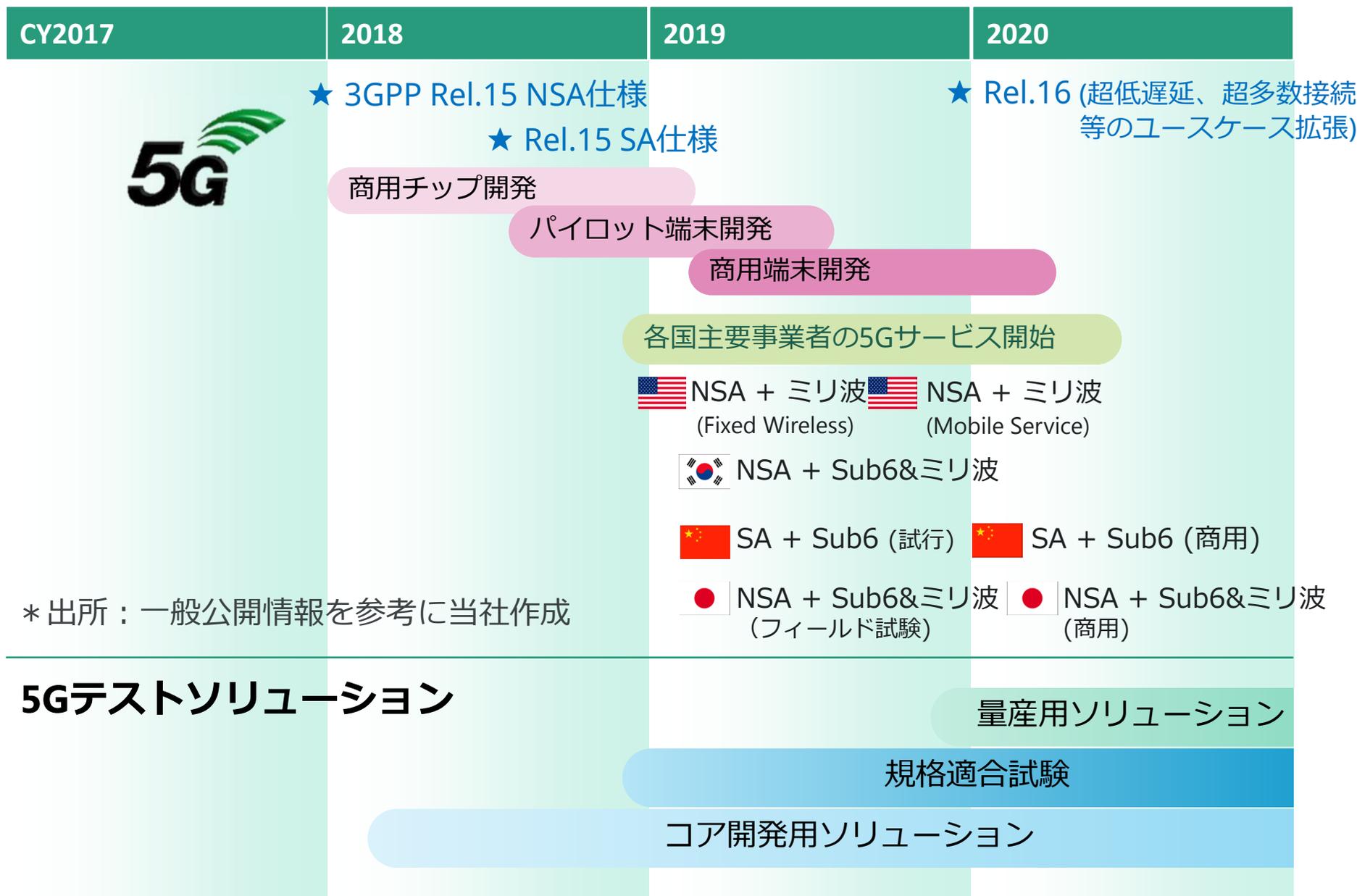
アンリツ株式会社  
代表取締役 社長  
計測事業グループプレジデント

**濱田 宏一**

# IV- 1. 計測市場トレンドと事業機会



# IV- 2. 5Gサービスのロードマップ



\* 出所：一般公開情報を参考に当社作成

## IV- 3. 5Gチップセット・端末開発用ソリューション

5G市場向けチップセットや端末などの開発用テストである  
ラジオコミュニケーションテストステーション MT8000A  
の出荷を開始

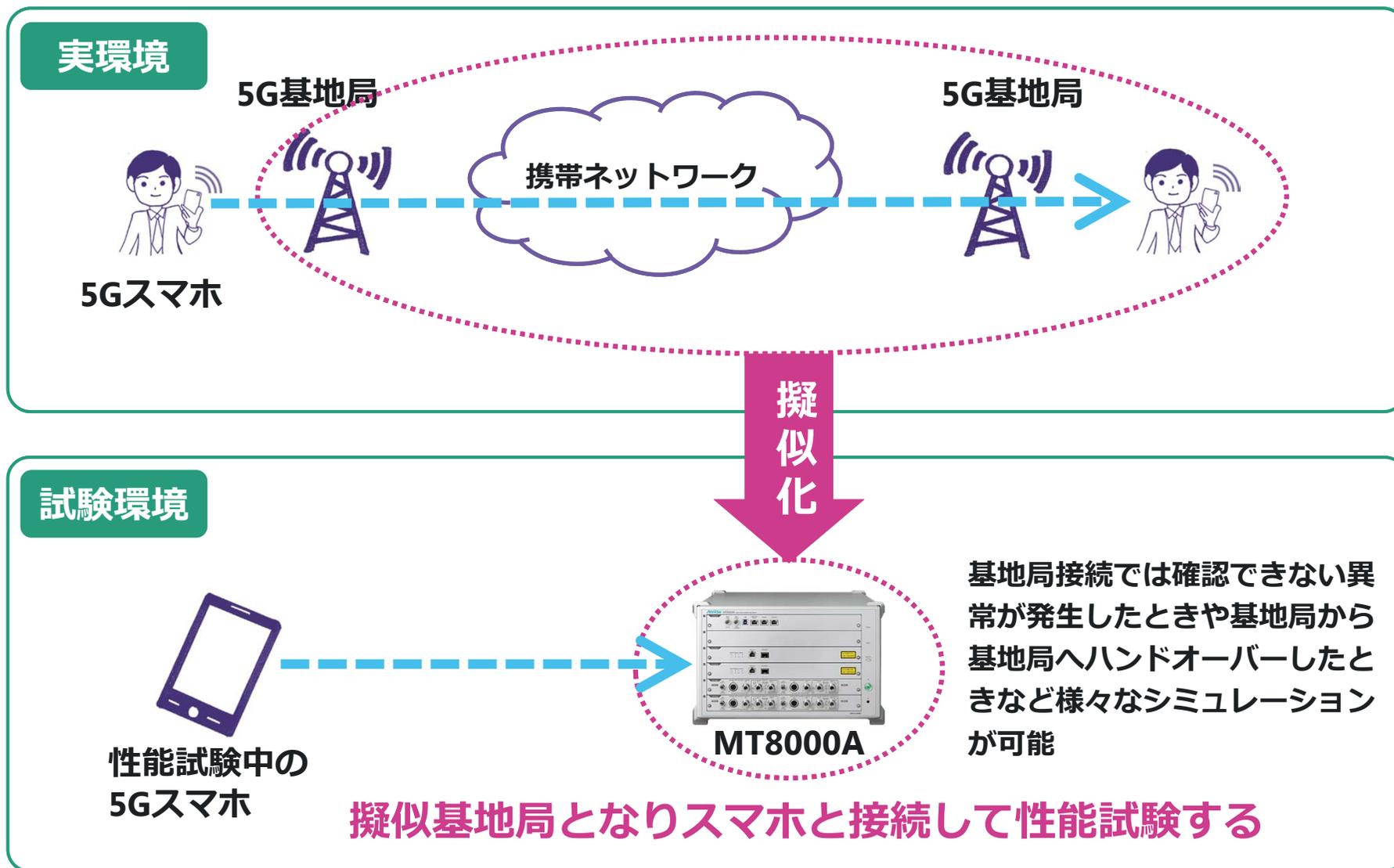
チャンバー（電波暗箱）



MT8000A

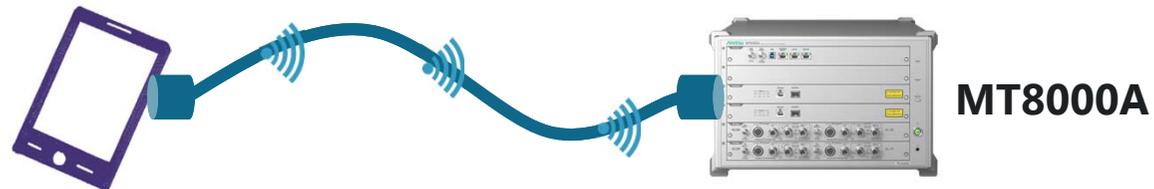


# IV- 4. MT8000Aの役割



## IV- 5. 高い周波数（ミリ波）の測定技術

### 低い周波数の場合



ケーブル接続することによって  
正確に測定ができる

### 高い周波数（ミリ波）の場合

チャンバーを使ったOTA  
(Over The Air) 接続で正確に  
測定ができる





**Anritsu**  
envision : ensure

